

平成25年度決算に係る

定期監査

調書

決算審査

平成26年7月

病院局総務課



1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1)	指摘事項	1 頁
(2)	監査意見	1 頁
(3)	審査意見	2 頁
(4)	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	4 頁
2	組織及び業務調べ	5 頁
3	職員の状況	
(1)	定員、現員調べ	5 頁
(2)	役付職員の調べ	5 頁
4	主な事業に関する調べ	6 頁
5	経営等の状況	
(1)	施設規模、業務状況等	8 頁
ア	施設規模、業務状況	8 頁
イ	入院・外来者実績	8 頁
(2)	経営分析等(総務課に係る経費等の振替後の数値があるものは( )別書きすること。)	
ア	医業収益100円当たり要素別費用等	8 頁
イ	診療科別医師1人1日当たり患者数	8 頁
ウ	患者1人1日当たり収益費用	8 頁
エ	手術、検査等	8 頁
オ	医業収益の月別調定、返戻、減点等	8 頁
カ	職種別給与調べ	8 頁
(3)	一般会計からの繰入金の状況	8 頁
(4)	債務負担行為の状況	8 頁
(5)	工事請負費調べ	8 頁
(6)	委託料、諸会費支出状況	
ア	委託料	9 頁
イ	諸会費	11 頁
(7)	その他の収入支出の状況	11 頁
ア	その他医業収益	11 頁
イ	その他医業外収益	11 頁
ウ	特別利益	11 頁
エ	雑損失	11 頁
オ	不納欠損処分	11 頁
カ	特別損失	11 頁
キ	未収金	11 頁
ク	医業未収金(患者自己負担分)回収促進のための取り組み状況	11 頁
(8)	土地、建物の貸付け及び使用許可状況	12 頁
(9)	借受不動産の状況	12 頁
(10)	職員住宅及び職員駐車場の管理状況	12 頁
(11)	除却資産	12 頁
(12)	寄附物件の受納状況	12 頁
(13)	不用品等の処分状況	12 頁

(14) 金券類の受払状況	12頁
(15) 固定資産、現金、有価証券、物品の滅失等の状況	12頁
(16) 自動車の管理状況	12頁
(17) 貯蔵品の購入払出の状況	12頁
6 予算決算対比表	
(1) 収益的収入及び支出	13頁
(2) 資本的収入及び支出	15頁
7 資金収支の状況	
(1) 資金収支表	16頁
(2) 累積資金推移表	17頁
8 意見、要望等	17頁
9 決算調書	
10 繰越計算書	
11 決算報告書関係説明資料(比較損益計算書、患者数に関する調べ、比較貸借対照表、固定資産年度中増減明細書、貯蔵品内訳明細書、未収未払勘定明細表、減価償却年度中増減明細表、留保資金等調書、企業債償還年次表、経営分析に関する調べ)	
12 その他参考資料(未収金調書、未払金調書、建設改良費明細表)	

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>&lt;減価償却額について&gt;            固定資産について、減価償却額に誤りがあったので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。</p>	<p>財務会計システムへの固定資産のデータ入力の順序により減価償却額が異なることが十分理解されていなかったことが原因で誤りが発生しており、正当な結果が得られる入力順序の徹底と登録したデータを出力帳票で確認することにより再発防止を図った。            なお、平成26年度より財務会計システムを更新したことでデータ入力の順序の違いによる誤り発生の問題は解消した。</p>

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>&lt;総合療育センターと県立病院との連携について&gt;            現在、総合療育センターは福祉保健部の障がい児施設として運営されているが、医療機関でもある。しかし、県立の2病院との連携については、人事異動も少なく、また、案件毎の個別の相談等は行われているものの、組織的に情報交換を行う窓口は無い状況である。            総合療育センターと県立病院は、機能は異なるものの、障がい児医療やリハビリ、それぞれの地域での他の医療機関との連携など、利用者にとって共通する課題や連携した取組が可能となることもあるものと考えられる。            ついては、総合療育センター、中央病院・厚生病院は、障がい児医療の利用者や関係者のニーズを踏まえた対応及び地域医療や組織運営の向上などを視野に、一層の情報交換を行われたい。</p>	<p>総合療育センターと県立病院の間では、従前から、障がい児の情報提供や人事関連（異動関連）の情報共有、看護師の採用試験の共同実施など必要に応じて連携を図ってきたところである。            今後、これらの取組に加え、現場間、本庁間での情報交換等、一層の連携を図っていく。</p>

(3) 決算審査意見

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>&lt;中央病院の建替えについて&gt;</p> <p>高度医療へ対応するため、近年、相次ぐ医療機器の増設等に伴い病院内の医療運営スペースの狭隘化が進み、医療スタッフは円滑な医療実施に非常に苦勞されている状況が見受けられた。こうした状況に鑑みると、今後も、東部医療圏の中核を担う病院として、更に高度で良質な医療を提供していくためには、スペースの拡充を踏まえた施設の抜本的な改善が早急に必要と考えられる。</p> <p>ついては、以上の状況を踏まえ、建替えに向けた検討を急がれたい。</p> <p>また、建替えまでの間、日々の医療業務に支障を来さないよう万全の対策を講じられたい。</p>	<p>東部医療圏を中心とした広域的な高度急性期医療の拠点として整備（平成30年秋の新病院開院を目途）するため、中央病院の建替に関する基本・実施設計等の予算を平成26年6月補正予算に提案する。</p> <p>なお、新病院建設までの間、現施設で業務を行い、必要な医療提供が滞ることがないようにする。</p>
<p>&lt;看護師の確保等について&gt;</p> <p>看護師が不足している中で、両病院においては、看護師確保のための勤務環境改善の取り組みとして、院内保育所の設置による育児支援、看護師の増員による3人夜勤体制の確立などの対策を講じられているところである。</p> <p>しかし、こうした対策にも関わらず、依然として中途退職する看護師も多く、看護師不足の解消には至っていない現状にある。</p> <p>ついては、看護師不足の解消に向け、引き続き勤務環境の改善と人員確保に向けた取組みを進められたい。</p> <p>また、看護の質を維持・向上させるため、現在実施している院内研修の充実や日々の業務の中で技術の習得が着実に図られるよう引き続き取り組まれたい。</p>	<p>看護師不足の解消に向け、県内外の看護師養成所を訪問するなどして、看護師採用試験の受験者の確保に努めているほか、離職防止、働き続けられる環境づくりのため、育児支援、夜勤体制の充実に加え、連続した5日間の休暇取得の促進等勤務環境改善に努めており、今後一層人員確保に向けた取組みを進めていく。</p> <p>なお、看護の質については、プリセプター制度による新人看護師の教育のほか、段階に応じたスキルアップのため、クリニカルラダーによる研修を実施しており、これらの取組みを通じて引き続き質の維持・向上に努めていく。</p>
<p>&lt;未収金（患者自己負担分）対策について&gt;</p> <p>中央病院では、専任職員による徴収、督促状発行前の電話督促、来院時の支払督促等の対応を行っているが、平成24年度決算では昨年度に比べ229万円の微減であり、滞納額は1億8,288万円と依然として多額となっている。</p> <p>ついては、中央病院においては、管理・監督職員が率先し督促を行うなど、滞納額の縮減に向け更なる努力をされたい。</p>	<p>未収金対策の強化として、中央病院では平成26年3月より休日の医療費の計算・収納体制を整え、新たな未収金の発生防止を図ったことに加え、4月からは未収金徴収担当の非常勤職員を増員したところであり、管理・監督職員も交えた電話督促、臨戸徴収や弁護士委託等、滞納額縮減の取組を行っている。</p>

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>&lt;適正な業務執行体制の確保について&gt;</p> <p>中央病院及び厚生病院については、平成24年度の決算に係る経理事務において、依然として不適切な事例が相当数見受けられた（中央病院14件（減価償却費の計上誤り等）、厚生病院5件（行政財産使用料の調定遅延等））。</p> <p>病院経営・医療事務にはかなりの習熟を要する業務も多いが、職員がこれに習熟していないことが、事務処理上のミスの発生要因のひとつとなっているものと考えられる。</p> <p>については、職員を一定期間習熟させるとともに、指導監督体制の強化により、適正な事務処理体制の確保に努められたい。</p> <p>なお、厚生病院に在籍していた職員が、在籍時に取引業者から飲食の接待を受けるなど、不適切な行為を行っていたことが明らかになり処分をされたところである。</p> <p>については、監督体制の強化を図られるとともに、コンプライアンスを徹底されるなど、再発防止に向けた措置を講じられたい。</p>	<p>事務処理ミスの多くは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き継ぎ及び職員間の連携不足</li> <li>・職員の知識不足</li> <li>・審査過程でのチェック不足</li> </ul> <p>に起因している。</p> <p>このため、前任者からの引き継ぎの際に上司が加わる等により、引き継ぎ内容の補完・充実を図るとともに新任職員等に対してのOJTによるスキルアップにこれまで以上に注力するほか、会計局ヘルプデスクの活用等を通じ、審査過程でのチェック力強化を図っていく。</p> <p>なお、厚生病院の元職員による不祥事に関連して、コンプライアンス徹底のため、ビデオ教材を用いた研修を行ったほか、業者等との接触の際の留意事項を周知し、再発防止を図った。</p>
<p>&lt;会計基準の見直しに対応について&gt;</p> <p>一般の企業会計との均衡を図ることなどを目的とした地方公営企業会計制度の変更に伴い、会計基準も大きく変更され、平成26年度の予算及び決算から適用されることとなっている。</p> <p>新しい会計基準の適用に向け、退職給付引当金への対応などの移行を円滑に行うための準備を適切に行う必要がある。</p> <p>については、今年度は平成26年度からの新しい会計基準の適用に向けた切り替えの重要な年度であるので、改正に伴う作業を円滑に実施するとともに、移行後の会計処理が適切に行われるよう万全の準備を図られたい。</p>	<p>新会計制度への円滑な移行に向けて、公認会計士の適切な助言が得られるよう、平成25年度において監査法人との間で委託契約を締結し準備を進め、新会計制度に対応した平成26年度当初予算の原案、資料作成を行った。</p> <p>平成26年度は新会計制度での初の決算を迎えることから監査法人と委託契約を締結し、引き続き適切な助言を得ながら決算に備えた準備を進めていく。</p>

(4) 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>&lt;未収金対策について&gt;</p> <p>現在、厚生病院で約4,000万円、中央病院においては約1億7,000万円もの未収金がある。</p> <p>未収金の回収を進める上で、速やかに債権分類を行い、効果的な対策を講じ、未収金の残高の縮減を図る必要がある。</p> <p>特に中央病院では未収金額の改善が見られず、厚生病院が実施している医療費預かり金や臨戸徴収など組織全体が一体となった徴収の取組など、より積極的な対策が必要である。</p> <p>その際には、生活保護等の制度の紹介などの配慮もしながら、滞納額の縮減に向けた粘り強い取組に努めていただきたい。</p>	<p>限度額認定等の患者自己負担額の軽減制度や出産育児一時金直接支払制度の利用促進、来院時の面談、電話督促等の未収金対策に加え、債権分類の基準を定め、分類を行った上で未収金発生後3年間を重点期間として臨戸徴収の実施のほか、生活保護等の各種制度の紹介を行うなど、未収金の縮減に努めている。</p> <p>また、夜間・休日の医療費の計算・収納体制を整え、新たな未収金の発生防止を図るとともに、中央病院において平成26年度に未収金徴収担当の非常勤職員を増員した。</p>
<p>&lt;療養環境等の改善について&gt;</p> <p>厚生病院は、築後27年を経過しており、現在の建物構造では入院患者への十分な療養環境の提供に支障を来している状況である。また、勤務するスタッフの執務環境にも改善すべき課題がある。</p> <p>病室は6人部屋が中心となっており、1人あたりの病床面積は国が定める基準を下回っており、病室のあり方の見直しを検討すべきである。さらに医療ガスアウトレットが6人部屋に2か所しか設置されていないこと、さらには病室の照明が暗いことなど早期の是正が必要である。</p> <p>スタッフの執務環境については、多くの大型機械設備を導入したため、スタッフの作業スペースが狭隘となっている厨房の早期拡張が求められる。</p> <p>以上のことから施設全体が狭隘な厚生病院が抱える根本的な課題解決のためには、今後、中長期的な施設整備に向けた検討を行う必要がある。</p> <p>中央病院の建替整備計画の策定にあたっては、満潮時における津波など複合災害等を十分想定した上で、災害時でも病院機能が確保されるよう議論・検討を行っていただきたい。</p>	<p>厚生病院の療養環境の改善については、特に医療ガスアウトレットの増設が喫緊の課題と捉えており、平成26年度に増設に向けた工事に取り組む。</p> <p>病室の照明については、平成24年度、25年度の2年間で改修工事を行い改善を図った。</p> <p>また、狭隘な厨房設備の改善方策については、設計業者の知見を踏まえ、院内で検討し、具体化を図る。</p> <p>いずれにしても施設全体が狭隘なことが病室の問題を含む療養環境問題の根本となっていることから、将来的な施設整備も視野に入れて、厚生病院がこれから取り組むべき医療や施設整備が経営に及ぼす影響等を整理しながら、中長期的な整備のあり方を院内で検討する。</p> <p>中央病院の建替整備については、大規模な地震対策のほか洪水と津波の複合災害でも浸水することがないように、対策を検討している。</p>



2 組織及び業務調べ

局（室）名	科（センター、室、部、課）名	科の主な所掌事務
病院局	総務課	局職員の人事及び労務に関すること 局の予算、決算及び会計に関すること 局の事務の総合調整に関すること

3 職員の状況

(1) 定員、現員調べ

(平成26年4月1日現在)

職 種	定 員	現 員	過不足 (△)	25.4.1現在		増 減		備 考
				定 員	現 員	定 員	現 員	
事務員	7 (1)	7 (1)	0	7 (1)	7 (1)	0	0	非常勤職員（事務）

( ) は非常勤職員外数

(2) 役付職員の調べ

(平成26年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
病院事業管理者	渡部 哲哉	0	6	
病院局長兼総務課長	福田 健	0	3	企業出納員
課長補佐	中西 徹	0	3	企業出納員
課長補佐	松本 秀樹	1	3	

4 主な事業に関する調べ

事業名	概 要																																																																														
職員採用試験の実施  決算額 一 千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 両病院において必要な人材を確保する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 次のとおり、適時に職員採用試験を実施した。</p> <p style="text-align: center;">【看護師採用試験】 4回実施 (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">試験日</th> <th style="text-align: center;">受験者数</th> <th style="text-align: center;">合格者数</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7/27</td> <td style="text-align: center;">66</td> <td style="text-align: center;">66</td> <td style="text-align: center;">鳥取会場</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8/18</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">大阪会場</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12/20</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">随時試験</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2/9</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">追加試験</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td style="text-align: center;">83</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【医療技術職採用試験】 4回実施 (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">試験日</th> <th style="text-align: center;">職種</th> <th style="text-align: center;">受験者数</th> <th style="text-align: center;">合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">5/12</td> <td style="text-align: center;">理学療法士</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">医療ソーシャルワーカー</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6/30</td> <td style="text-align: center;">薬剤師</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">11/17</td> <td style="text-align: center;">理学療法士</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">作業療法士</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">診療放射線技師</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">臨床検査技師</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">言語聴覚士</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">臨床工学技士</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">診療情報管理士</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">2/9</td> <td style="text-align: center;">理学療法士</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">言語聴覚士</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">医療ソーシャルワーカー</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">管理栄養士</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">91</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 6/30の薬剤師の試験は、人事委員会が実施。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成 果</p> <p>(ア) 看護師 看護師確保に努め、夜勤体制の充実など医療安全の向上を図ることができた。</p> <p>(イ) 医療技術職 必要な人材が概ね確保できた。</p> <p>エ 課 題</p>	試験日	受験者数	合格者数	備考	7/27	66	66	鳥取会場	8/18	7	7	大阪会場	12/20	5	5	随時試験	2/9	7	5	追加試験	計	85	83		試験日	職種	受験者数	合格者数	5/12	理学療法士	1	0	医療ソーシャルワーカー	2	0	6/30	薬剤師	4	2	11/17	理学療法士	8	3	作業療法士	2	2	診療放射線技師	3	1	臨床検査技師	13	4	言語聴覚士	4	1	臨床工学技士	2	0	診療情報管理士	21	2	2/9	理学療法士	4	1	言語聴覚士	1	0	医療ソーシャルワーカー	5	1	管理栄養士	10	1	計		91	19
試験日	受験者数	合格者数	備考																																																																												
7/27	66	66	鳥取会場																																																																												
8/18	7	7	大阪会場																																																																												
12/20	5	5	随時試験																																																																												
2/9	7	5	追加試験																																																																												
計	85	83																																																																													
試験日	職種	受験者数	合格者数																																																																												
5/12	理学療法士	1	0																																																																												
	医療ソーシャルワーカー	2	0																																																																												
6/30	薬剤師	4	2																																																																												
11/17	理学療法士	8	3																																																																												
	作業療法士	2	2																																																																												
	診療放射線技師	3	1																																																																												
	臨床検査技師	13	4																																																																												
	言語聴覚士	4	1																																																																												
	臨床工学技士	2	0																																																																												
	診療情報管理士	21	2																																																																												
2/9	理学療法士	4	1																																																																												
	言語聴覚士	1	0																																																																												
	医療ソーシャルワーカー	5	1																																																																												
	管理栄養士	10	1																																																																												
計		91	19																																																																												

	優秀な人材を必要数確保できるよう、受験者を集める努力を継続して行う。
事業名	概要
鳥取県病院局新財務 会計システムの構築  決算額 11,025千円 (財源内訳) 企業債 10,984千円 その他 41千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 病院局財務システムを平成26年度事業から適用される地方公営企業会計制度（以下「新会計基準」という。）へ対応するよう再構築する（以下、再構築前のシステムを「既存システム」、再構築後のシステムを「新システム」という。）。</p> <p>また、新システムに既存システムのデータを移行し、平成26年度から新システムを活用できるようにする。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 新システムの構築にあたり、公募型プロポーザル方式により委託業者を選定する必要があるため、平成24年度に外部委員2名を含む5名の委員を決定して評価委員会を立ち上げた。</p> <p>平成25年度には決定した業者と委託契約を締結し、新会計基準に対応する新システムを構築した。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新会計基準への対応として、監査法人と委託契約し、制度改正に伴う相談、助言を受けて、平成26年度当初予算における制度改正に対応する所要額の計上、財務諸表等を作成するとともに、勘定科目の見直しを行い、平成26年度予算に反映させた。</p> <p>ウ 成果 新会計基準に対応する会計処理業務を行うことができる新システムを構築することができた。</p> <p>エ 課題 新システムによる新会計基準に沿った決算処理は、平成26年度末に本格化することから、それまでの間にシステム操作、新会計基準の習熟を進める必要がある。</p>

事業名	概要	要
自己申告書のシステム化  決算額  ー 千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 自己申告システム（内容は知事部局におけるキャリア開発シート、身上報告書）の構築により、申告する職員及び申告のとりまとめを行う人事担当職員の負担軽減をはかり、あわせて人事管理上必要な情報のシステムによる一元管理を図る。（従来は紙による自己申告）</p> <p>(イ) 事業の実施状況 自己申告の実施期間 5月期 平成25年5月31日（金）から6月19日（水） 9月期 平成25年9月20日（金）から10月18日（金） 1月期 平成26年1月20日（月）から2月17日（月）</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし（平成25年度新規事業のため）</p> <p>ウ 成果 電子化により職員の申告内容が一元管理され、職員の業務状況、配慮すべき事項等の把握等が容易となり、人事管理を効率的に行えるようになった。</p> <p>エ 課題 職員が容易に入力できるよう画面上のメッセージ等を工夫する。</p>	

## 5 経営等の状況

- (1) 施設規模、業務状況等  
該当なし
- (2) 経営分析等  
該当なし
- (3) 一般会計からの繰入金の状況  
該当なし
- (4) 債務負担行為の状況  
該当なし
- (5) 工事請負費調べ  
該当なし

(6) 委託料、諸会費支出状況  
ア 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更 契約(最終)	(契約年月日) 契約額	契約 期間	履行検査 年月日	契約形態 (当初)				
委託料 (経費)	単県	平成25年度 新地方公営企 業会計制度移 行支援業務委 託	新日本有限責 任監査法人	986,000	(H25.4.1) 985,920	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.25 (免除)	H26.3.31	精	H25.5.21 他	985,920	・新規
							随	H26.3.31				
委託料 (経費)	単県	鳥取県病院局 財務会計シス テムデータ抽 出作業	富士通(株)鳥取 支店	577,500	(H26.3.13) 525,000	H26.3.13 ~ H26.3.25	H26.1.24 (免除)	H26.3.25	精	H26.3.31	525,000	・新規
							随	H26.3.25				
委託料 (経費)	単県	平成25年度 財務会計シス テム保守業務 委託	富士通(株)鳥取 支店	504,000	(H25.4.1) 504,000	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.22 (免除)	H26.3.31	精	H25.5.21 他	504,000	
							随	H26.3.31				
委託料 (経費)	単県	顧問弁護士委 託	神戸海都法律 事務所	630,000	(H25.4.1) 630,000	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.25 (免除)	H26.3.31	精	H25.5.21 他	630,000	
							随	H26.3.31				
委託料 (経費)	単県	平成25年度 鳥取県新工事 進行管理シス テム及び鳥取 県電子調達シ ステム運用保 守業務	(株)日立システ ムズ中国支社	518,177	(H25.4.1) 374,115	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.22 (免除)	H26.3.31	精	H26.4.10	374,115	
							随	H26.3.31				
委託料 (経費)	単県	平成25年度 公務能率評 定、執務姿勢 診断、出退勤 管理システム 運用管理業務 委託	(株)鳥取県情報 センター	1,002,120	(H25.4.1) 1,002,120	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.22 (免除)	H26.3.31	精	H26.4.10	1,002,120	・鳥取県職員 イントラネッ トと連携させ る必要がある ため。
							随	H26.4.1				

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
委託料 (経費)	単 県	平成25年度 給与計算事務 委託	株鳥取県情報 センター	2,058,945	(H25.4.1) 2,058,945	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.22 (免除)	H26.3.31	精	H26.4.10	2,058,945	・一般会計の 給与計算事務 を行ってお り、給与計算 業務に精通し ているため。
							随	H26.4.1				
予定価格が 20万円未 満のもの											326,936	
目計											6,407,036	
合計											17,419,331	

## イ 諸 会 費

(単位：円)

名 称	支 出 金 額	内消費税額	支 出 先	備 考
鳥取県自治体病院開設者協議会会費	234,000	0	鳥取県自治体病院開設者協議会	
支出額が10万円未満のもの	50,000	0		
合 計	284,000	0		

## (7) その他の収入支出の状況

## ア その他医業収益

該当なし

## イ その他医業外収益

該当なし

## ウ 特別利益

該当なし

## エ 雑損失

該当なし

## オ 不納欠損処分

該当なし

## カ 特別損失

該当なし

## キ 未収金

(単位：円)

区 分	過年度分		現年度分		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
医業未収金	0	0	2	179,835	2	179,835
（その他） 決算整理に伴う追加金	0	0	2	179,835	2	179,835

## ク 医業未収金（患者自己負担分）回収促進のための取り組み状況

全 般 事 項	<p>(1) 取り組んだ状況 効果的な債権管理を行うための債権分類基準の検討を行った。</p> <p>(2) 取り組み効果 6月初旬に各病院の債権管理事務取扱要領（未収金マニュアル）を改正し、債権分類基準を盛り込む予定である。</p>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(8) 土地、建物の貸付け及び使用許可状況

該当なし

(9) 借受不動産の状況

該当なし

(10) 職員住宅及び職員駐車場の管理状況

該当なし

(11) 除却資産

該当なし

(12) 寄附物件の受納状況

該当なし

(13) 不用品等の処分状況

該当なし

(14) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	760	3,210	3,590	380	
収入印紙	500	0	0	500	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	1,260	3,210	3,590	880	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成26年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
86枚	0枚	9枚	77枚
		8,060円	

(15) 固定資産、現金、有価証券、物品の滅失等の状況

該当なし

(16) 自動車の管理状況

該当なし

(17) 貯蔵品の購入払出の状況

該当なし



## 6 予算決算対比表

## (1) 収益的収入及び支出

## ア 収入

(単位：円)

科 目	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	合 計			
(款) 病院事業費用	29,408,000	0	0	29,408,000	29,407,284	△716	
(項) 医業外収益	29,408,000	0	0	29,408,000	29,407,284	△716	
(目) その他医業外収益	29,408,000	0	0	29,408,000	29,407,284	△716	
(節) その他医業外収益	29,408,000	0	0	29,408,000	29,407,284	△716	

## イ 支出

(単位：円)

科 目	予 算 額								決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による繰 越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用 増減額	地方公営企 業法第24条 第3項の規 定による支 出額	小 計	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による繰 越額	合 計				
(款) 病院事業費用	75,485,000	0	0	37,968,838	0	113,453,838	0	113,453,838	109,251,175	0	4,202,663	
(項) 医業費用	75,485,000	0	0	8,560,838	0	84,045,838	0	84,045,838	79,843,891	0	4,201,947	
(目) 給与費	59,011,000	0	0	8,560,838	0	67,571,838	0	67,571,838	67,571,838	0	0	
(節) 給料	29,043,000	0	0	△395,400	0	28,647,600	0	28,647,600	28,647,600	0	0	
管理者給	5,947,000	0	0	△76,000	0	5,871,000	0	5,871,000	5,871,000	0	0	
事務員給	23,096,000	0	0	△319,400	0	22,776,600	0	22,776,600	22,776,600	0	0	
(節) 手当	16,951,000	0	0	1,699,908	0	18,650,908	0	18,650,908	18,650,908	0	0	
管理者手当	4,378,000	0	0	10,810	0	4,388,810	0	4,388,810	4,388,810	0	0	
事務員手当	12,573,000	0	0	1,689,098	0	14,262,098	0	14,262,098	14,262,098	0	0	
(節) 賃金	2,121,000	0	0	△907,977	0	1,213,023	0	1,213,023	1,213,023	0	0	
(節) 退職給与金	0	0	0	8,077,134	0	8,077,134	0	8,077,134	8,077,134	0	0	
(節) 法定福利費	10,896,000	0	0	87,173	0	10,983,173	0	10,983,173	10,983,173	0	0	
(目) 経費	16,474,000	0	0	0	0	16,474,000	0	16,474,000	12,272,053	0	4,201,947	
(節) 厚生福利費	27,000	0	0	21,000	0	48,000	0	48,000	47,880	0	120	
(節) 交際費	400,000	0	0	0	0	400,000	0	400,000	0	0	400,000	
(節) 報償費	173,000	0	0	229,540	0	402,540	0	402,540	402,540	0	0	
(節) 旅費交通費	1,077,000	0	0	△253,967	0	823,033	0	823,033	557,453	0	265,580	
(節) 消耗品費	1,503,000	0	0	0	0	1,503,000	0	1,503,000	1,046,596	0	456,404	

科 目	予 算 額							決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による繰 越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用 増減額	地方公営企 業法第24条 第3項の規 定による支 出額	小 計	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による繰 越額				
(節)光熱水費	451,000	0	0	0	0	451,000	0	451,000	449,277	0	1,723
(節)燃料費	110,000	0	0	3,427	0	113,427	0	113,427	113,427	0	0
(節)食糧費	150,000	0	0	0	0	150,000	0	150,000	26,369	0	123,631
(節)印刷製本費	657,000	0	0	0	0	657,000	0	657,000	448,197	0	208,803
(節)修繕費	10,000	0	0	0	0	10,000	0	10,000	0	0	10,000
(節)賃借料	1,697,000	0	0	0	0	1,697,000	0	1,697,000	1,515,448	0	181,552
(節)委託料	8,597,000	0	0	0	0	8,597,000	0	8,597,000	6,407,036	0	2,189,964
(節)通信運搬費	255,000	0	0	0	0	255,000	0	255,000	135,635	0	119,365
(節)諸会費	290,000	0	0	0	0	290,000	0	290,000	284,000	0	6,000
(節)雑費	1,077,000	0	0	0	0	1,077,000	0	1,077,000	838,195	0	238,805
(項)医業外費用	0	0	0	29,408,00	0	29,408,000	0	29,408,000	29,407,284	0	716
(目)雑損失	0	0	0	29,408,00	0	29,408,000	0	29,408,000	29,407,284	0	716
(節)その他雑損失	0	0	0	29,408,00	0	29,408,000	0	29,408,000	29,407,284	0	716

## (2) 資本的収入及び支出

## ア 収 入

(単位：円)

科 目	予 算 額						決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第 26条の規定による 繰越額に係る財源 充当額	継続費通次繰 越額に係る財 源充当額	合 計			
(款) 資本的収入	30,700,000	0	30,700,000	0	0	30,700,000	14,400,000	△16,300,000	
(項) 企業債	30,700,000	0	30,700,000	0	0	30,700,000	14,400,000	△16,300,000	
(目) 企業債	30,700,000	0	30,700,000	0	0	30,700,000	14,400,000	△16,300,000	
(節) 企業債	30,700,000	0	30,700,000	0	0	30,700,000	14,400,000	△16,300,000	

## イ 支 出

(単位：円)

科 目	予 算 額							決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			備 考	
	当初予算額	補正 予算 額	流用 増減 額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続 費通 次繰 越額	合 計		地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続 費通 次繰 越額	合 計		不用額
(款) 資本的支出	30,775,000	0	0	30,775,000	0	0	30,775,000	14,453,250	16,321,750	0	16,321,750	0	
(項) 建設改良費	30,775,000	0	0	30,775,000	0	0	30,775,000	14,453,250	16,321,750	0	16,321,750	0	
(目) 資産購入費	30,775,000	0	0	30,775,000	0	0	30,775,000	14,453,250	16,321,750	0	16,321,750	0	
(節) 資産購入費	30,775,000	0	0	30,775,000	0	0	30,775,000	14,453,250	16,321,750	0	16,321,750	0	

7 資金収支の状況

(1) 資金収支表

ア 病院局総務課

(単位：円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	14,453,250	資本的収入 (B)	14,400,000
建設改良費	14,453,250	企業債	14,400,000
企業債償還金	0	負担金	0
他会計借入金償還金	0	補助金	0
		資本的収支資金不足額	
		(C = A - B)	53,250
		(補てん財源)	
		当期純利益	
		損益勘定留保資金	
		消費税等資本的収支調整額	688,250
		計 (D)	688,250
収益的収支の資金剰余額			
(E = D)	688,250		
当年度資金剰余額			
(F = E - C)	635,000		
合 計 (A + F)	15,088,250	合 計 (B + D)	15,088,250

イ 病院事業会計全体

(単位：円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	3,132,066,481	資本的収入 (B)	2,726,525,962
建設改良費	1,863,880,598	企業債	1,482,700,000
企業債償還金	1,268,185,883	負担金	753,960,424
他会計借入金償還金	0	補助金	489,835,038
		固定資産売却代金	30,500
		資本的収支資金不足額	
		(C = A - B)	405,540,519
		(補てん財源)	
		当期純利益	1,448,943,868
		損益勘定留保資金	727,707,774
		・減価償却費	(605,717,700)
		・資産減耗費	(9,827,963)
		・雑損失	(944,167)
		・繰延勘定償却	(63,005,799)
		・特別損失	(48,212,145)
		消費税等資本的収支調整額	1,098,692
		計 (D)	2,177,750,334
収益的収支の資金剰余額			
(E = D)	2,177,750,334		
当年度資金剰余額			
(F = E - C)	1,772,209,815		
合 計 (A + F)	4,904,276,296	合 計 (B + D)	4,904,276,296

(2) 累積資金推移表

ア 病院局総務課

(単位：円)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
累積資金剰余額 (流動資産－流動負債)	0	0	0	0	0
当年度資金剰余(△)不足額	0	0	0	0	0

イ 病院事業会計全体

(単位：円)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
累積資金剰余額 (流動資産－流動負債)	3,628,945,791	4,464,400,799	5,701,087,980	7,049,911,036	6,973,292,780
当年度資金剰余(△)不足額	326,280,772	835,455,008	1,236,687,181	1,348,823,056	△76,618,256

8 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし